

SPECIAL MESSAGE 神戸百店会だより



★神戸風月堂88レストラン

5月の特選コース



豊かな旬の幸をふんだんに取り入れた
和洋折衷料理を特別価格で楽しめる。新
緑のいろどり盛り込んで……ゆっくりと
味わってみてください。

和洋会席コース

お一人様 ¥5000 (税別)

アミューズ キャヴィアのオモニエール仕立て うに風味
椀 白玉万頭 海老 なめこ 花山椒
造里 鯛 太刀魚 鰹 ポン酢
ステーキ 牛フィレ肉のポワレエシャロット風味
合肴 栄螺つば焼 はじかみ 衣被ぎ

おしのご かるかんフォワグラ射込み うま出し
煮物 若鶏のフリカッセ あまがさ茸添え
酢物 浮かれ赤貝 新じゃがいも 胡麻豆腐
止 小柱とマシロのリゾット
フルーツ 時に熟すもの
甘味 抹茶又はコーヒー
食前酒のサービスあり

●要予約 (078) 302-5555 ミナトニ ゴーフル
5月31日まで ※5月25日(土)・26日(日)は休み

★モロゾフ主催 「イタリア・テルニ市観 光局長来日歓迎会」



奥さまはエリザベス・テイラーにそっくり!と大人気

に、4月3日、神戸ポート
ピアホテルで歓迎会が開か
れた。

日本でも定着した2月14
日のバレンタインデーの発
祥の地、イタリア・愛の街
テルニから観光局長のバッ
パレーニご夫妻が来日され
た。テルニ市は愛の守護神
である聖バレンティーン生
誕の地。現在、布引ハーブ
園にある、愛をテーマにし
た「愛の彫刻」は国際親善
のために、平成5
年のバレンタイン
デーにテルニ市か
ら贈られたもの。
日本におけるバレン
ティンデーの発
祥の地・神戸とテ
ルニとの友好関係
を一層深めるため



ステキなプレゼントに大喜び

ベニヤ新社長

松谷齊泰さんに聞く



松谷齊泰さん（株式会社紅屋代表取締役社長）

ていくばかりでしょう。一気に変えることは難しいでしょうから、じっくりやっつけていきますよ。

—お客さんに対しては。

松谷 単なる高級感でなく常にハイスタイルな生活を提案していきたいですね。

—ブランド志向より、専門店らしい売り方が問われますね。

松谷 基本はそれぞれの店の個性ある品揃えですから、人材教育も重要です。私の考えをいかに伝えるか、社員とのコミュニケーションが大切ですね。

—どんなお考えを。

松谷 これまではみなさんモノを所有することに對しての支出が多かったと思うんです。いい車を持つことがステイタスである人もいるでしょうが、そうでない人も、生活にメリハリをつけるため、

時間の使い方に力を入れたいですね。個人的には友人と一緒に過ごす時間を楽しむようにしています。そういう環境づくりも含めて、服だけでなくトータルな生活を提案していきたいですね。

—ウィンドウのディスプレイにも反映してきますね。

松谷 どんな生活をする人のための店なのか、しっかりと表現しなければなりません。

—年齢層は。

松谷 団塊の世代とそのジュニアがキーになるでしょう。

—震災後の神戸について。

松谷 失ったものは数限りなくありますが、ハード面の開発だけでなくソフト面を重視していくチャンスだと考えたいですね。インターネットなどハード面の流れと、個人的なコミュニケーション、昔ながらのひとびとの交わりといった両極端の流れがありますが、最終的には調和に向かうと思います。震災後はそれを再認識しましたね。最後に女性たちにひとこと。

松谷 日本の女性は欧米の女性と内面的にも違いますから、それを履き違えずにしっかりと見つけてほしいですね。日本女性には心のセクシーさがありますよ。

—歴史ある会社の社長に就任されましたね。

松谷 来年で五十周年を迎えます。創業は私が生まれた年と同じなんですよ。

—何か新しい計画は。

松谷 人事制度から商品の見直しまで、まずは基礎がためですね。

—ニューヨークのファッション工科大学ご出身だそうですが、むしろのシステムの良いところは。

松谷 先にコンセプトありで、先に全体像をつかんでからひとつひとつ理めていく点です。日本では高度成長期からの延長で付け足し

神戸の文化財はいま〈その六〉

教会は地域を支える拠点に

信仰の原点に帰り議論進む新しい姿

文・写真 大谷成章 （本誌）



→大地震の前の栄光教会。記憶の中の風景になってしまった

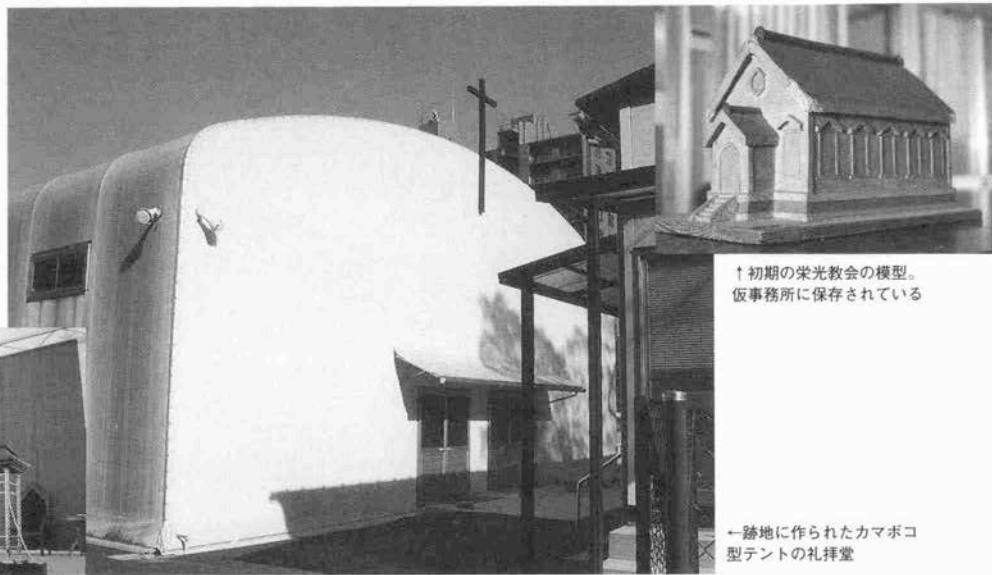
焼け落ちた家屋がまだくすぶっているまちを駆け抜け、県庁近くの、血まみれの人々が廊下にも玄関にもあふれている日赤病院に入っている知人を見舞い、トアロードに向かおうと東を見たら、目の前の空間が消えていた。栄光教会がない。空間に穴が空いている。風景が歪んでいる。

レンガ造りのゴシック風の教会が見えない。クスノキの大木に囲まれ、そびえ立っているはずの尖塔が消滅している。端正で瀟洒なたたずまいが、虚空に消えてしまっている。山手へ向かう道、繁華街へ下る道が鋭角に交わる先端に建っている栄光教会は、山を背景として落ち着き、海を背景として心広がる、いわばわたしの神戸の原風景だったのだ。

教会に隣接している牧師館の二階で眠っていた北村宗次牧師が礼拝堂に駆け込むと、真っ暗な中に白いほこりが立ち込め、説教台が五メートルすっ飛び、祭壇の奥の壁が落ち、外の県民会館が見えていたという。表へ出ると道路に異様な塊があり、それが倒壊した塔であることに気づくまでにしばらく時間がかかった。

「倒れるときはすごい音がしたはずなのに、聞いた記憶がない。なぜだったのでしょうか」

栄光教会は、上海から神戸に来た米国人のランバス宣教師によって一八八六年、居留地に開かれた。三十二歳だったランバス宣教師は続いてバルモア学



↓無事に運び出された洗礼盤、聖餐台、説教台

↑初期の栄光教会の模型。
仮事務所に保存されている

←跡地に作られたカマボコ型テントの礼拝堂



院、関西学院を創立している。栄光教会は一八八八年、山手に移り木造の礼拝堂が建てられた。一九二二年、その場所に県庁が移ってくることになり、いまの地に移転、鉄筋入りレンガ造りの姿をそび立たせた。レンガはイギリスから運ばれて来たものだった。

礼拝堂は消えたが、説教台、聖餐台、洗礼盤は残った。壁に塗り込めたあつた木の十字架も出てきた。古いベンチも、解体前に信者が運び出してくれた。

「建築家の安藤忠雄さんが、一部を残した姿で再建してはどうですか、お手伝いしましょう、と申し出てくれました。しばらく考えたのですが、由緒ある聖餐台、説教台などが残ったので、それだけで十分だと思いました。教会は建物ではない、祈りの場なのです」

昨年の復活祭は、カマボコ型テントの礼拝堂で行われた。夏、会堂再建委員会が発足した。教員にいくたびかアンケートが行われ、希望や意見を聞き集めた。最初の段階では、同じ場所に同じ姿の教会を再建したいという希望が九〇％以上占めていたが、回を重ねるたびに、新しい姿の教会の提案が増えてきたという。

「塔に愛着はありますが、もう塔はいらないとも思えてきました。大震災の中での助け合い、心の通い合いこそわたしたちが求めるものでした。塔の高さを誇る時代ではありません」

北村牧師は「まちの復興にあわせて新しい会堂の姿をみんなで考えていこうと思っています」と話している。

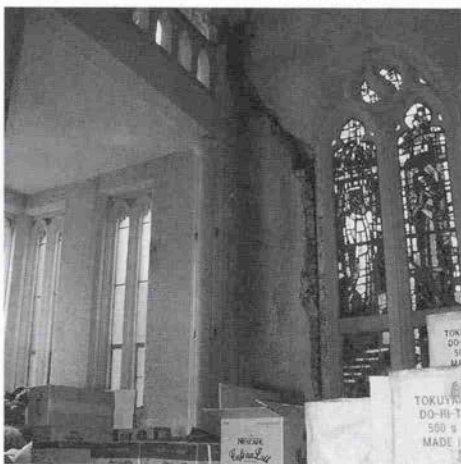
★

カトリック中山手教会礼拝堂の中を石井望神父の案内で見せてもらった。ステンドグラスは清らかな光を導きいれているが、あちこちの壁が落ち、芯のレンガが剥き出しになっている。危険なのでいまは使用禁止。救援本部の物資置き場としてだけに使わ



→ヒビが入った中山手教会の正面。直後からボランティアの基地になった（95年1月25日撮影）

↓壁に大きな裂け目ができ、いまは救援物資保管場所



れている。鐘のある塔にも上ってみた。鐘は、年に一度、クリスマスの際にだけ鳴らされるのだが、こゝとは一月十七日に、鎮魂の鐘が鳴らされた。

中山手教会は、最初は居留地に建てられた外国人のための教会だった。一九二〇年代の初め、いまの場所に移ったが、神戸大空襲で焼け、残った壁を使って再建された。いまも信者の半数近くは外国人で、フィリピン、イギリス、カナダ、アメリカ人が多い。大震災の中での救援活動も、以前から行っている路上生活者援助に加えて、外国人救援が中心になっている。

「公的援助から漏れている人たち、谷間におかれた人たちを支援するのがこの教会を基地にしたボランティア活動の中心課題になりました。昨年四月の時点で、名簿に記入されているボランティアは六百人を超えていましたが、実数はもっと多かったです。よう。これまで教会というと、外から集まってもらうところでしたが、外へ出て地域を歩き回り、地域とのつながりを深め、広げていくセンターになりました」

石井神父は、教会を意味するラテン語のエグレスアは、もとはギリシャ語の「神に呼び集められたもの」の意で、建物を表すのではないと説明する。建物は礼拝堂であり、聖堂であるが、教会活動は必ずしも建物がなければできないものではないのだ。

「いま何が優先するのか考え直しています。礼拝堂を修復することより、教会が地域に何ができるか、教会が人々の集まれる場所になっているか、垣根を作ってはいないか、救いをあらわすものになっているか、そんなことを話し合っているのです」

★
そして石井神父は「教会の建物の再建は、地域が復興したその後からです」という。

「宗教は建物に関心を寄せ過ぎていた。聖なるものを俗から切り離そうとし、立派な建物を建てては



↑ 鷹取教会のキリスト像。台座にはベトナム語、ハンダ語、漢字で「信愛」と刻まれている

一紙の柱で建てられた「ペーバードームたかとり」。
提案し設計した坂茂さんは関西建築家大賞を受賞した

↓ 建設はボランティアたちが受け持った



管理にはかり気を使い、会員券をもつ人しか入れないような会員制のクラブにしてしまっていた」
礼拝堂が倒壊し、焼失したカトリック鷹取教会の神田裕神父は、わずかに残った扉もそのうち取り壊してしまつつもりだ、と話している。

鷹取教会は一九二七年、須磨、長田の信者のために建てられた。木造の、畳敷きの、民家と変わらぬ姿で始まった。しかし、周りは扉で囲まれ、地域からは隔絶した印象を与えていた。一九六〇年代に始まったカトリック大改革は「教会は地域へ出て、地域とともに」と《会員制クラブ》からの脱却を呼びかけた。鷹取教会も、子供たちのための催しを近くの商店街の人たちと一緒に行うようになっていた。大震災で、鷹取教会はボランティアの大基地になった。登録者だけで五千人を超え、多い日には百八十人が寝泊まりした。クリスチャンでない人の方が多いに多い。「たまたま焼け野原の中で寝袋で転がって眠れるスペースがあつただけのことです。しかしこのことは教会の在り方を深く考えさせてくれました」

いま、鷹取教会の敷地には「街の保健室」「FMわいわい放送局」記録映画スタジオ「青池組」、そして「ペーバードームたかとり」が建っている。ペーバードームは紙管とテントでできたホール。コンサートやギャラリ、住民集会の会場に提供されている。

「バラックやコンテナの建物ですが、不自由はありません。ずうっとこのままでもいいと思つたりもしています。聖堂を建てるのはまちが復興してから。そのときは、人が集う場所としてのエクレシア、そういう建物にしたい。もちろん扉や垣根はありません」と神田神父は語っている。

数年後、あるいは数十年後、キリスト暦二十一世紀の神戸に、大震災の体験を生かし、高い精神性を具現した、教会が現れる。

化石化しかかったビルのすぐ脇にある円形の広場にジンは立っていた。ドーム型の正面玄関からサキの出でくるのを待っていたのだ。ジンは腕時計に目をやっては、また玄関に目を移した。

昼下がりの広場には鳩と小さな子供が群れていて、ベンチは浮浪者たちに占領されていた。広場の前のロータリーを、車やオートバイが回遊魚のようにぐるぐると回っている。

気の弱そうな太陽が時々雲の隙間から顔を覗かせ、ジンの脳天めがけて冬の光をはなった。

ジンは光の中でもう一時間ほど待っていた。

電話をしても、サキはいつだって、忙しいの、用事があるの、つてすぐに切ろうとする。怒っている様子は無いが、なんとなく避けようとしていることは明らかだ。どうしてだろう。この間まではうまくいきそうだったのに。二年ぶりに二人の暮らしが復活しそうだったのに。こうして職場まで訪ねてきたことを、サキは怒るだろうか。しかし、いつまでも宙ぶらりんのままではおられない。

あれこれ考えあぐねた揚げ句、ジンは公衆電話からサキの事務所に電話をかけたのだ。

是非会イタイ、イマスグニ。君ノ事務所ノ前デ待ッテイマス。

彼女はしばらく間を置いてから、何も言わず電話をきった。

あれから一時間の待ちぼうけ。状況は良いとは言えない。だけどジンはいつになく楽観的だった。きつとやってきそうな予感がしたのだ。

会ったあとどうしよう、とジンは考えた。北野のカフェにでも案内するか。彼女はチョコレート・ケーキが好きだから。でもダイエット中かも。映画はどうだろう。たしか、ギリシャ映画の面白いのがかかってたはず。映画なんて見たくない、つて言われたら……無理矢理見ろ、なんて言えないしな……博物館はどうだろう。あそこには古代象の骨格模型がある……だけど骨格模型じゃ厭がるかもしれない。厭がる……会うこと自体？まさか？会った途端、どうしてこんなところまでやってきたの！つて怒鳴るかもしれない……まあいいさ、それならそれで。顔を見るだけでも。

その時、ジンの目の前で「こんにちわ」と声がした。彼は慌てて顔をあげた。日の光の作るスポットライトの中にサキが立っていた。「ひさしぶりね、元気にしてるの？」と彼女は言った。

ジンは一瞬言葉を失った。それから、小さく「ああ」とだけ言った。

「何の用なの？」とサキがきいた。

ジンは「なんでもないんだ。ちょっと近くまで来たから、どうしてるかなって」とぶつきらぼうに言った。

「何だかすごく疲れてるみたいね」

「……いつだってそうさ」

「この間のパーティー、ごめんなさい。厭な思いさせちゃって。だから私」



連載小説〈第3回〉 ガラスの犀

木村 光理
絵／森澤達夫



「こつちこそ悪かったよ。あんなパーティーだって知らなかつたから。インテリな人々が集まつてるなんて」

「インテリじゃないわ」

「知つてたら、もっと勉強してたのに」

「そうじゃないったら」

「もう、会つてくれないんじゃないかって」

「ええ。少し迷つたわ。だつて、ジンとなると、私……」

「僕といると……」

「なんでもないわ」

「気になるな」

「気にしないでいいわ」

「時間はいいの？」

「ええ。昼から休みとつたの」

嬉しさを押し殺しながら「へえ……」とだけジンは言

つた。

「あなたこそいいの？ その中には仕事がうんざりするほど詰まつてるんでしょ」 サキはダークブラウンのアタッシュケースを眺めて言った。ジンはそいつをサキの目から隠せたらいいのに、と思つた。

「随分重そうね」

「マジックの種のカタログが詰まつてる。どうせ、売れやしないけど」

「脚本の種ならいいのに」

「それより少し歩こうか？ いいかい？」

「いいわよ。私も歩くの嫌いじゃないもの」

「足、痛くならないかな」

「やさしいのね。どうかしたの？」

「そう。下心があるんだ」

「平気よ、私」

「何が……」

「なんでもないわ」

彼らは公園から港に向かって真つすぐに歩いた。やがて岸壁近くの体育館のような巨大な国際マーケットの入り口までやってきた。「ここ、久しぶりね」とサキは言つた。

「あなたと別れて以来よ。私、前からここでスペイン製の掃除機買ったかつたの。緑と赤の。覚えてた？」

「……手に入れたの？」

「いいえ。忘れてたの、すっかり。今急に思い出したわ」
彼女は目当ての品を求めて、マーケットの中を捜し回つた。でも、掃除機は恥ずかしがつて姿を見せなかつた。

店員に尋ねても、甲高い声で「日本製がいいですよ」と繰り返すばかり。サキはすっかり不機嫌になつた。

「あれを売つてないなんて、どうかしてるわ。昔はおいたのよ」

「いいじゃないか」

「良くないわ。趣味の悪いものばかり並べて。感性がないのよ」

「デパートに行けばあるかもしれない」

「駄目よ。ここじゃなきや。ここにあつたのよ」

「だけど……」

「あなたに関係ないわ」

どうしてそんなにこだわるのかジンには理解できなかった。掃除機を買いきたわけでもないのに、とジンは思った。

サキはその店に呪いの言葉を吐いてから「私、これ以上歩きたくないわ。足が痛くて」と、不機嫌をあらわにして言った。

彼らがふたたびビルのそばの公園にもどった時、太陽は沈み始めていた。サキは浮浪者のいなくなったベンチの一つに腰かけた。

「少し湿ってるわね」と彼女が言った。

「鳩のせいさ」とジンは言った。「鳩の呼吸は湿ってるから」

「ほんとかしら？」

少し機嫌を直してサキが言った。彼女は上質の革の靴を脱ぐと、足を前に伸ばした。透明なナイロンストッキングの中の真っすぐに伸びた脚も、足の先のワインレッドのペディキュアをほどこした指も、昔どおりに美しかった。彼はその指の一つ一つにキスがしたかった。一緒に暮らしてた頃は、日曜日の朝、ベッドの中で必ずその行為を繰り返したもののに。ジンはその衝動をかるうじて我慢すると「長い間歩かせたのに、スペイン製の掃除機も買えなかつたし……」と詫びるように言った。

サキは首を振った。美しい首筋がコートから覗いた。ジンはその首筋にキスをしようと決めた。今度は我慢なんかないぞ。そう思った彼はゆっくりとサキに近づいた。その途端、タイミングをはずすようにサキがベンチから立ち上がった。

「前のパーティーの時、あなたの隣にすわってた女の人がいたでしょ、覚えてる？」と彼女が言った。

「ああ。あの人には失礼なことを言ってしまったんだ」

「彼女があなたに謝りたいって」

「僕に？ どうして？」

「脚本家だなんて知らなかったからって」



「よせよ。僕は脚本家なんかじゃないよ。またからかうつもりかい」

「わかっているわよ、セールスマンってことは。でも、脚本家でもあるわけ。でしょ。私あなたのセブテンパーブルーって戯曲大好きよ。どうして続きを書かないの。そんな変てこなマジックの種ばかり売らないで」

「やめよう、そんな話、疲れるよ」

「どうして？」

「繰り返しになるよ。僕はセールスマンで満足してるんだ。今の僕で」

「嘘よ。ほんとに満足してるなら何も言わないわ。でも、そうじゃないよ。私にはわかるわ」

「嘘じゃないよ。いったい、どうわかるんだ！」

ジンは思わず大きな声を出した。

「昔と一緒にね。フィルムを見てるみたい」

「ごめん」とジンはこたえた。

「いいわよ」とサキが言った。

☆

「よく来てくれたわね、サキ。それに……」と言ったまま、レイコは言葉に詰まった。「ジンよ」と急いでサキ



が言った。

この女性はほんとに僕に会いたがっていたのだろうか。サキがかってにそう言っただけじゃないのか。むしろサキが仕組んだんじゃ……怪しいものだな。とジンは思った。

「この間はおめんなきいね」とレイコは言った。「あなたがセールスマンだなんていうもんだから。きつとあれね、セールスマンの死とか、幻のセールスマンなんて作品もあるし……たしかにセールスマン、って何だかシンボリックなところがあるわね。この国じゃ、みんな何かしらセールスマンじみてるし」

ジンは一度に不機嫌になった。

「僕がセールスマンだったら、何か問題があるんですか。それともセールスマンって卑俗の象徴なんですか。或は、あなたが酔ってるのか、狂ってるのか……」

ジンは半分怒鳴るように言った。レイコは驚いてサキを見た。サキは救いを求めるような顔でジんに目をやった。

「冗談だよ」とジンは不機嫌を抑えながら言った。

「びっくりしたわ」とレイコが言った。

「この人、感情の起伏が激しすぎるのよ」とサキが言った。

ソファに腰掛けるとジンは立て続けにハイライトを吸った。

「何も食べてこなかったんでしょ」とレイコがきいた。

「ええ」とサキはこたえた。「この人、大食漢なのよ、そうでしょ、ジン。レイコはね、素晴らしい料理を作るの。本職よりずっと上手よ」

ジンはちらりとサキを睨んだ。サキは無理矢理笑った。サキとジンにお茶を入れながら「今気付いたんだけど、あなたたちってとっても良く似てるわね。兄と妹みたい。そうじゃないの?」とレイコが言った。

サキは少し間を置いて「そうね、似過ぎてるのよね」と答えた。

料理がやってくるのを待つ間、ジンは居間の書棚をぼんやりと眺めた。そこには、革装丁の高価な書物が並んでいた。その中に、デルポオーの画集があった。ハンス・ベルナルも、エゴン・シーレも。

「素晴らしい本ばかりでしょ。羨ましいでしょ」とサキが言った。「彼女のパパはお医者様よ。お金持ちなのよね。だから彼女好きなのよができるの」

やがて、オードブルを銀のトレイにのせてレイコがやってきた。

「食堂で食べる?それともそっちでいい?」と彼女がきいた。

「どっちにするの?」と小声でサキがきいた。

「どっちだっていいよ」とジンは言った。

「翻訳するとね、こっちがいいんだって。素晴らしい本が並んでるから、食事だってきつとおいしくなるだろうって、そうでしょ」とサキが言った。

レイコは居間のテーブルにオードブルを並べながら「ほとんどが父のものよ。古いから変な匂いがするでしょ」と言った。

「時の匂いよ。素晴らしいじゃない。それより、あなたこそいい匂いがするわよ」とサキが言った。「どんな香

水つけてるの？」

「さつきシャワーを浴びたから」

「ミッコでしょ、たぶん」

「どうだか……どうぞ、オードブルを取ってね。遠慮せず」

ジンの目の前のクリスタルグラスにブランデーを注ぎながらレイコが言った。飲んでみると、それはビールより遥かにうまかった。彼はほんの少し幸福な気分になった。毎日こんな酒を飲める暮らしも悪くないとジンは思った。

ジンがデルボオーの画集を見ながらブランデーを飲むという至福の時を味わっている間、女たち二人は機関銃のようにしゃべりあつた。言葉使いもジンとしゃべる時より、ずっと荒っぽかった。ジンの前でサキがこんな風にしゃべつたことは一度もなかった。それがジンにはなんとなく悲しかった。

話に一区切りがつくと、今度はレイコの代わりにサキが台所にたつた。

サキがいなくなると、レイコがジンの横にすわつた。

香水の匂いがジンの鼻の周りに霧のように漂つた。

「話があるの」と低い声でレイコが言った。「サキのことなんだけど。私ね、彼女の友達でしょ、だからつてことで……頼まれたの、自分からは言いきいんですって。私だつて言いきいわよね」

「何なんです？ 僕に人殺しでもやれつて？」 ブランデーの酔いで赤く充血した目をしてジンは言った。

「厭な役よね。あなたがショックを受けなければいいんだけど」

「大丈夫、これでも一応男だから」

「実はね……彼女、結婚するのよ、さ来週」

「結婚？」

「ええ」

「ほんとに？」

その言葉が悪い冗談であることをジンは願つた。だが、彼女は黙つてうなづいた。ジンはふいに自分の体が冷たくなつていくのを感じた。意識はあつたが、今いる場所とは異なつた所に急速に落下していくように感じた。顔から血の気がひいていくのが自分でもはっきりとわかつた。

「さ来週の水曜日なの。あなたにも出席してほしいんだつて」

レイコの声が大きくなつたり小さくなつたりしながら、ジンの耳に波うつて届いた

「もし良ければ、私と一緒にいかない？ 車で迎えにいくわ」
心の中には大型の嵐が吹いていたが、ジンは表面上かろうじて風ぎを装つた。地獄だな、とジンは思つた。

サキがレイコの所へ行くよう勧めたのは、このことを聞かせるためだったのか。そのために、わざわざ。そう考えると、怒りのようなものがジンの中に込み上げた。

「顔が真っ青よ」

「大丈夫」

平静を装つてジンは言った。

「そうか、彼女、結婚するのか」

「そうよ。この間のパーティーの時に……」

レイコは続けたが、ジンは彼女の言葉を聞いてはいなかつた。聞こえもしなかつた。

別れたあともサキは自分を愛し続けてくれていると思つてた。きっとそのうちもとの状態に戻るつて、そんな予感も持つていた。馬鹿々しいけど、占い師もそんな風に言つていた。一年九カ月ぶりにサキに会えたのも良い兆候だと思つていた。なのに突然……

彼の頭の中では、無数の真っ白な光の粒が好き勝手に飛び交つてた。

(つづく)

愛読者のためのコミュニケーションサロン



神戸っ子倶楽部新会員 継続会員ご案内

■神戸っ子倶楽部では、ただ今会員を募集しています。会員の方には「月刊神戸っ子」を1年分お届けします。また、神戸っ子倶楽部の会報として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ子倶楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きなど様々な情報を提供します。さらに年2回、文化性の高いイベント（コンサート、美術展、演劇など）に特別割引または無料でご招待いたします。年会費（入会金を含む）は1万円です。

神戸を愛する人たちのカルチャークラブ「神戸っ子倶楽部」。あなたもご入会になって豊かな神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか。

会員の方は有効期限をお確かめのうえ、継続会員として年会費をお納めください。

□入会申し込み・お問い合わせは…

〒650 神戸市中央区下山手通3丁目1-18 ツインズ
アビル4F 有限会社月刊神戸っ子まで
TEL: 078-331-2246 FAX: 078-331-2795

舌耕会 “神戸吉兆” 再開に集う

と き 1996年6月21日(金)

午後7時～

ところ そごう神戸店2F
神戸吉兆お座敷 (15名限り)

会 費 ￥20,000 (税・サ) 飲物別

“味を語る” 湯木喜和 (神戸吉兆社長)

●お申込み・お問合わせ

神戸っ子倶楽部舌耕会 (月刊神戸っ子内) 担当: 小泉

〒650 神戸市中央区下山手通3丁目1-18

ツインズアビル4F TEL 078-331-2246

FAX 078-331-2795



神戸っ子通信

●神戸文化復興基金

震災で被災した芸術関係者への支援や、美術、音楽などの創造発表活動への助成、また工事現場で



の壁画の作成や、震災記録作品の制作発表活動への支援などを行う「アート・エイド・神戸」の活動を支える基金(委員長=伊勢田史郎氏)を次の口座で受け付けている。○さくら銀行栄町支店 神戸文化復興基金 普通預金 3615811 問い合わせは事務局・海天堂キョウラリー-TEL: 078-331-2467へ

●あしなが学生募金

震災遺児らの進学を支援する同学生募金。集まった募金は全額、災害、病気、病氣遺児らへの奨学金貸与を行う「あしなが育英会」

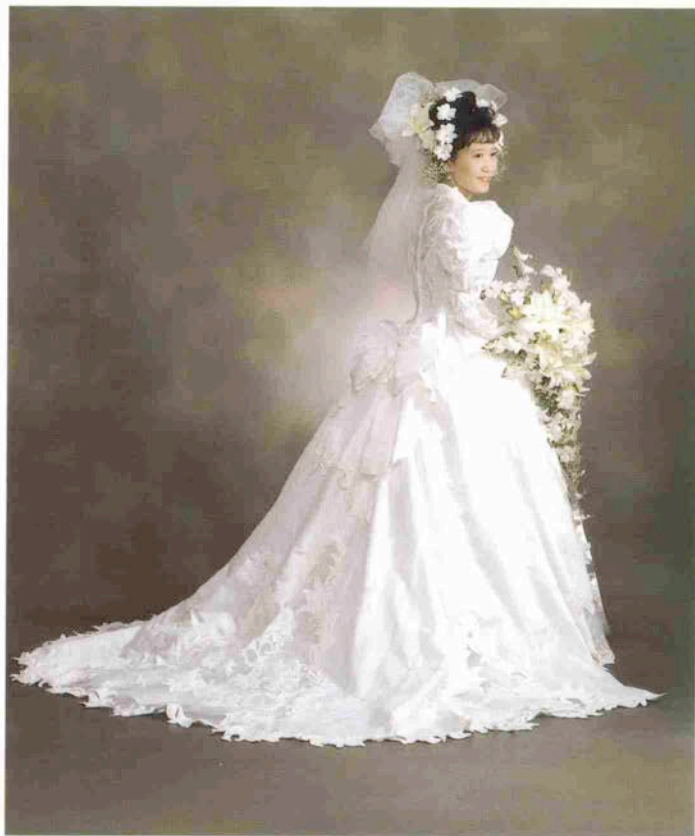
へ寄付される。募金は郵便振替で受け付けている。口座「あしなが育英会震災遺児口」00100・1・171252

●異人館修復支援へ基金

大震災で被害を受けた神戸・北野の異人館修復など、神戸の顔として魅力を伝え続けてきた街を住民自身の手で守るため、地元の「北野・山本地区をまもり、そだてる会」が支援金を募っている。募金は郵便振替で受け付けている。口座「北野・山本地区をまもり、そだてる会」01160・1・60707 問い合わせは同会会長浅木さん方TEL: 078-242-6288へ

●神戸復興支援義援袋

神戸商工会議所WE LOVE KOBE 元氣復興委員会などの後援で、神戸有名店メーカーのご協力を仰ぎ、復興支援のため神戸の銘品をバックにした義援袋を全国各地で販売している。詰め合わせは3,000円・5,000円・10,000円の3種類。問い合わせは事務局・月刊神戸っ子TEL: 078-331-2246へ



6月16日(日)
美容室 エリザベス
住吉店オープン!



美を追求し、奉仕の気持ちをもってお客様に
ひとときの安らぎを感じて頂けますよう
皆様のご光栄をお待ち申し上げます。

HAIR & FACE *Elizabeth*

本店 神戸市中央区三宮町2丁目6-4
TEL. (078) 331-8894 (代)
住吉店 神戸市東灘区住吉本町2丁目10-42
TEL. (078) 851-6388 (代)
レンタルブティック 三宮店美容室エリザベス階上
Ellie TEL. (078) 331-3258

畑尾美久子 (左)
八木美彩代 (右)





夢天上・夢気分

KOBEのエントランス

見あげれば、光の花束。

やさしい色に誘われ

ショッピング、お食事

149の上質な専門店が集う街

ニューフェイス、さんちかカード。

さんちかメンバーズカードが新しくなりました。

JCB・VISA・UC/マスターの3つのブランドの中からお選びいただけます。さんちかで、日本で、世界で、オリコ・JCB・VISA・UC/マスターの加盟店をご利用ください。

さんちかメンバーズカード1枚で、あなたと世界の出会いです。

さらに増えた、メンバーだけの特典

- さんちかでうれしい5%割引。●ご利用額の2%が戻ってきます。●初使いプレゼント/最高5,000円の「さんちかギフト券」がもらえる。●スクラッチプレゼント/2,000円分の「さんちかギフト券」がもらえる。●各種イベントへご招待。●急な雨も大丈夫、貸し傘サービス。



さんちかメンバーズカード
Orico Card JCB



さんちかメンバーズカード
Orico Card UC/VISA



さんちかメンバーズカード
Orico Card UC/マスター

santica

The New Heart of Kobe 神戸・三宮さんちか


〒650神戸市中央区三宮町1丁目10番1号

TEL : 078 (391) 3965

●6月の定休日/19日(水)

●営業時間/AM10:00~PM8:00(飲食店はPM9:00まで)

4月13日(土)～6月23日(日)

 神戸市立博物館

■月曜日休館(ただし4月29日/5月6日は開館)

■午前9時30分～午後5時(金・土曜日は午後7時まで)

入場は閉館30分前まで

観覧料金：一 般 1,200円(1,000円)

高・大生 900円(700円)

小・中生 450円(350円)

※()内は前売料金です。

主 催 神戸市/神戸市立博物館/

オルセー美術館/日本経済新聞社

学術協力=国立西洋美術館



■交通案内

- ・新幹線[新神戸]から南へ車で約10分
- ・JR[三ノ宮]、地下鉄、阪急、阪神[三宮]から南西へ徒歩約10分
- ・JR、阪神[元町]から南東へ徒歩約10分

■お問い合わせ

日本経済新聞社大阪本社 企画事業部
TEL(06)946-4102
オルセー美術館展運営事務局
TEL(06)348-0815

モデルニテーバリ・近代の誕生

オルセー美術館展



エドゥアール・マネ『バルコニー』 Photo: R.M.N./Musée d'Orsay

祝

生田神社震災復興 御社殿修造竣工奉告祭

5月27日～6月18日

美しくよみがえった生田さん

◆奉納行事日程

五月二十七日

杉山義法作「日本つれづれ節」

(一人芝居 出演 五大路子・奥村公延・上原まり)

六月六日

奉告祭第一日

石見神楽・池川神楽(国指定重要民俗無形文化財)

神社会館直会弦楽四重奏

六月六日～十日

生田神社社蔵宝物展(武庫の間)

生田神社奉納品

一、御弓(土宮社) 神宮

一、胡蝶録(園相神社) 神宮

一、女のいる風景 石阪春生画伯 一、六曲屏風書「賀の歌」 小山素洞

一、信楽焼 狛犬1対 中林 茂

六月七日

奉告祭第二日

石見神楽・池川神楽(国指定重要民俗無形文化財)

六月八日

奉告祭第三日

池川神楽(国指定重要民俗無形文化財)

諏訪神太鼓(信濃之国彦之宮諏訪大社太々神楽)

六月九日

献華祭・展示

十日 未生流、庵家未生流、中山文甫会、嵯峨御流、遠春流

六月十二日

献茶式

武者小路千家家元 千宗守奉仕

六月十八日

献茶式 表千家家元 千宗左奉仕



欧風料理

生田前
もん

神戸市中央区北長狭通
2-12-12
☎ (078) 331-0372
331-0373




堀郁子のサロン
音楽の家

ジャンソニエ 神戸市中央区北長狭通
2-5-17
ET TOI サンセット21ビル5F
エトワ ☎ (078) 332-1755



来年4月
生田筋に再開


みどり美粧院

神戸市中央区下山手通
4-12-2
☎ (078) 334-1071

▶ 4月15日 春季例祭で



株式会社 三星堂

取締役社長 山田隆史

神戸市中央区山本通2-14-1
TEL.078-231-4341 FAX.078-222-0359

コーナン建設株式会社

代表取締役社長 原 真一

神戸市中央区磯上通6-1-9 KOBE MKビル4F
TEL.078-221-6293 FAX.078-252-1350

カクテン屋制服

代表取締役 橋本 暁

神戸市中央区北長狭通1-9-10 いくたロード
TEL.078-321-0018 FAX.078-321-0106

(株) シャルマン 楽珍

代表取締役 三條正豊

神戸市中央区下山手通2-1-13 第13 シャルマンビル
TEL.078-391-5005 FAX.078-332-0170

レストラングループ 株式会社 サンコトブキ

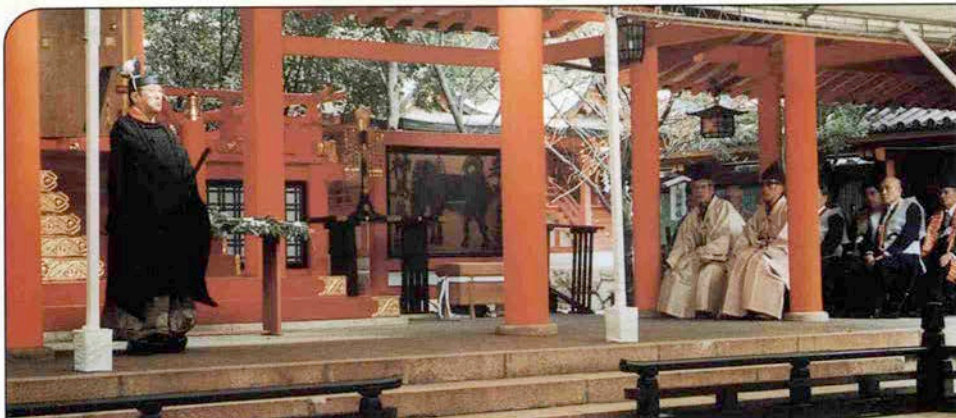
代表取締役社長 細谷俊雄

尼崎市本堂町4-2-32
TEL.06-438-7211 FAX.06-438-7255

(株) 加美乃素本舗

代表取締役社長 宮崎幸三

神戸市中央区熊内橋通3-3-25
TEL.078-231-1455 FAX.078-221-4104



◀生田神社
加藤隆久宮司
ごあいさつ



小山兼洞氏▶
六曲屏風書

三輪運輸工業株式会社

取締役社長 三輪吉郎

神戸市中央区脇浜町2-11-1
TEL.078-251-5001 FAX.078-251-4525

学校法人 行吉学園

理事長 行吉哉女

神戸市中央区港島中町4-7-2
TEL.078-303-4700 FAX.078-303-4713

知香流

家元 成瀬香梅

神戸市灘区篠原伯母野山町1-1-3
六甲グランドヒルズ711 TEL.078-882-0085

バンドー化学株式会社

取締役社長 雀部昌吾

神戸市中央区磯上通2-2-21
TEL.078-232-2923 FAX.078-232-2847

10月10日にオープンいたします

中華料理 神仙閣

神戸市中央区下山手通2-13-1
TEL.078-331-1263 FAX.078-391-1992

株式会社 竹中工務店

神戸支店
取締役支店長 和田貞男

神戸市中央区磯上通7-1-8
TEL.078-265-3300 FAX.078-265-3301

KOBEうまいもん&ドリンク

●日本料理

- 料亭 **北野異人坂**
 ラウンジ 神戸市中央区北野町2-9-22 078(222)2001
- どじょう **吾作**
 神戸市中央区元町通2-7-20 078(321)0539
- 季節茶屋 **一輪一房**
 神戸市中央区三宮町1-8-1-058 078(331)2280
- 天ぷら **天ふじ**
 鉄板焼 神戸市中央区下山手通2-11-24大信ビル1F 078(392)3630
- 寿司 **又平**
 神戸市東灘区西岡本2-7-3オーキッドコート右峯館1F 078(453)1877
- 串焼 焼鳥 **トリドリ**
 神戸市中央区北長狭通2-5-1 078(391)3028
- 名代讃岐うどん **あこや亭**
 神戸市中央区旗塚通7-1-1 078(232)2400
- 日本料理 **澤村**
 神戸市中央区加納町4-8-19 078(332)2210
- 山菜料理と
 精進の店 **ろくだん**
 神戸市中央区東川崎町1-6-1 078(360)8476

●各国料理

- ステーキ **五事**
 中央区元町通3-14-1 078(332)3201

西洋料理 **レストラン ソネ**
 神戸市神戸市中央区中山手通1-24-10 078(221)2055

イタリア料理 **リストランテ ベルゲン**
 神戸市中央区山本通2-32 078(241)6952

メキシコ料理 **ティファーナ**
 神戸市中央区中山手通1-21-13 078(242)0043

ステーキハウス **グリル 青山**
 神戸市中央区下山手通2-14-5 078(391)4858

ステーキ **六段**
 神戸市中央区元町通3-8-4 078(331)2108

ドイツ居酒屋 **ローテ・ローゼ**
 Weinstube 神戸市中央区北野町4-9-14 078(222)3200

韓国宮廷料理 **百濟**
 神戸市中央区下山手通3-1-9コスモビル1F 078(392)5458

ステーキ **和黒(わっこく)**
 神戸市中央区中山手通1-24-1ヒルサイドテラス1F 078(222)0678

シルクロード料理 **ぶはら**
 スイスレストラン 神戸市中央区三宮町2-2-2杉本ビル2F 078(331)1734

すていきハウス **長崎**
 神戸市中央区布引町2-3-16 078(221)1086

ブラジル料理 **コパ・カバーナ**
 神戸市中央区中山手通2-1-13ニューサンコービルB1 078(391)0888

広東料理 **中国酒家**
 トアロード店 神戸市中央区北長狭通3-12-1 078(391)5537
 元町店 神戸市中央区北長狭通3-8-1 078(332)5595

レストラン **パトリー**
 神戸市中央区二宮町4-20-5(ホテルビエナ神戸2F) 078(272)1313

ビュッフェ **ニューミュンヘン神戸大使館別館**
 神戸市中央区中山手通3-1-19ホテルトアロード地階 078(332)1222

●喫茶・菓子

フランス菓子 **トアロード・ドンク**
 喫茶 神戸市中央区三宮町3-8-14 078(391)5485

ケーキ **アンテノール**

喫茶 北野本店 神戸市中央区中山手通1-22-13 078(242)3797
 神戸店 神戸市中央区北長狭通1-10-6 078(331)8640

純喫茶 **元町サントス**
 神戸市中央区元町通2-3-12 078(331)1079

宮水のコーヒー **にしむら珈琲店**
 中山手店 神戸市中央区中山手通1-26-3 078(221)1872
 三宮店 JR三宮駅山側 078(241)2777
 センター街店 神戸市中央区三宮町10-27 078(391)0669
 北野坂店 山本通2-1-20 078(242)2467
 阪急前店 三宮東口山側 078(332)5727
 ハーパーランド店 078(360)1803

喫茶 **英國屋**
 センター街店 センター街3丁目 078(391)9006
 三宮店 国際会館東浜側 078(251)4562
 オーパ店 三宮オーパ3F 078(291)2036
 ダイエー店 ダイエー三宮駅前店9F 078(291)8295

珈琲専門店 **珈琲倶楽部**
 神戸市中央区東川崎町1-6-1
 神戸ハーバーランドMOSAIC(モザイク)1F 078(360)0151

珈琲専門店 **トアロード珈琲倶楽部**
 神戸市中央区北長狭通3-1-14 岸田ビルなにお銀行地下 078(322)2166

●STAND&SNACK

演歌スタジオ **延歌**
 神戸のター坊の店
 神戸市中央区中山手通1-9-24カタオカビルBF 078(332)5755

カクテルラウンジ **サヴォイ**
 モザイク店 神戸市中央区東川崎町1-6-1モザイク1F 078(360)2545
 三宮店 神戸市中央区北長狭通2-5-17サンセット21ビル3F 078(331)2615

スナック **珍地理屋**
 神戸市中央区中山手通1-22-10象ビル1F 078(242)0288

ジャズラウンジ **神戸アルバトロス**
 神戸市中央区中山手通1-22-10象ビル 078(231)3300

サロン **マシュケナダ**
 神戸市中央区中山手通1-4-6ユーベルビル4F 078(331)5587

カクテルバー **馬車屋**
 神戸市中央区加納町4-9-29メロフィックアトラス神戸ビル3F 078(331)6814

スナック **STILL**
 神戸市中央区下山手通2-4-13 第1高山ビル4F 078(332)5759

シャンソン **エトワ**
 神戸市中央区北長狭通2-5-17サンセット21ビル5F 078(231)3326

バー **トム・キャンティ**
 神戸市中央区加納町4-9-17朝日ビル1F 078(331)2122

バー **バー22 北野坂**
 神戸市中央区中山手通1-23-10モンシャトーコトブキビルB1 078(222)6623

スナック **智恵子**
 神戸市中央区北長狭通2-11-5 グランドコーストビル2F202 078(332)3856

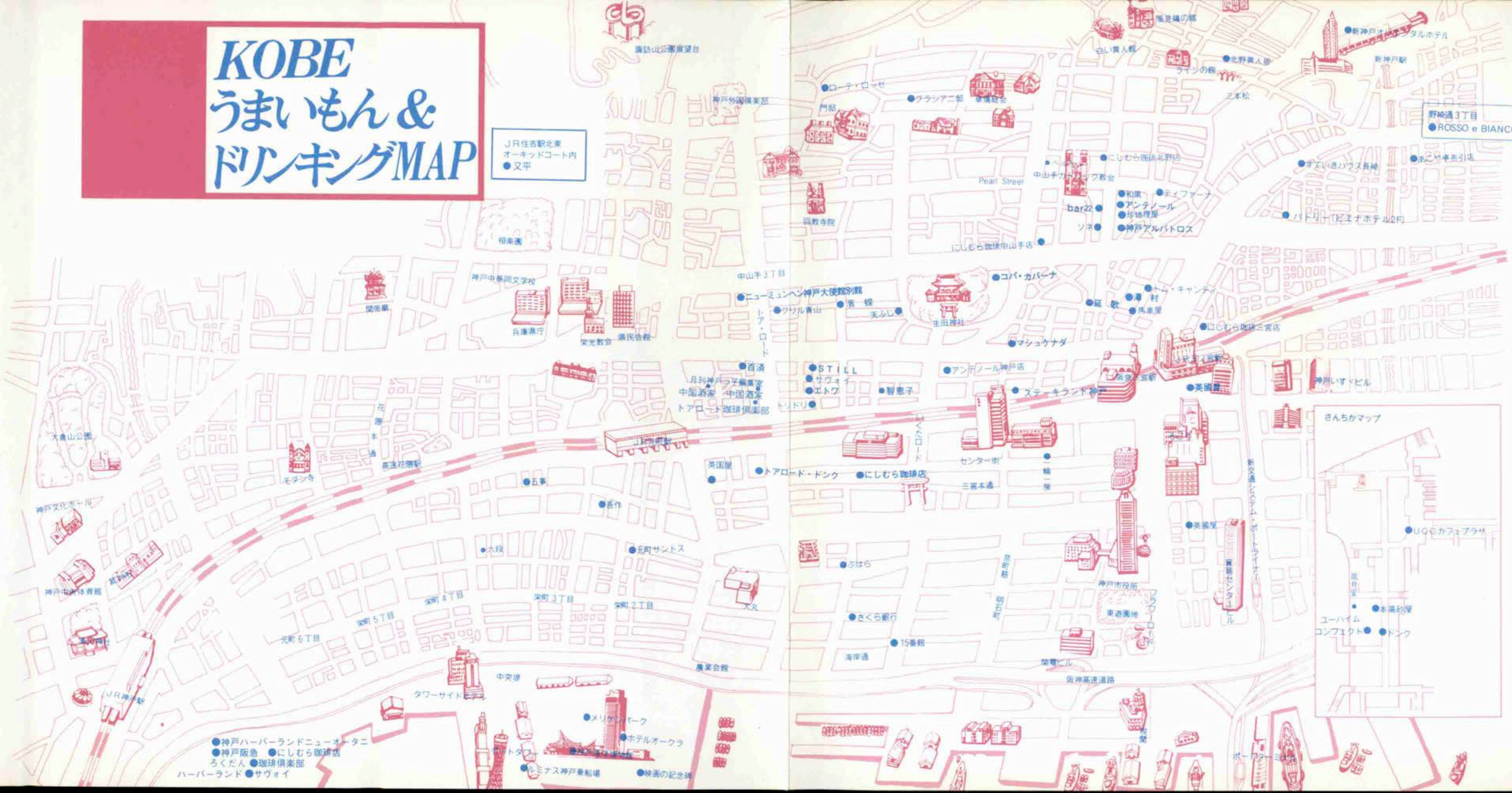
スタンド **濱蝶**
 神戸市中央区北長狭通1-20-9 館ビル1F 078(331)2566

ラウンジ **内田**
 神戸市中央区下山手通2-1-13第13シヤルマンビル6F 078(391)3866

KOBE

うまいもん & ドリンクMAP

JR住吉駅北東
オーキッドコート内
●又平



野崎通3丁目
●ROSSO e BIANCO



- 神戸ハーバーランドニューオータニ
- 神戸阪急 ●にしむら珈琲店
- ろくだん ●野球倶楽部
- ハーバーランド ●サワイ
- メリケンパーク
- ホテルオークラ
- ルミナス神戸船場
- 映画の記念碑

中村新のPoisson塾 6



第6回主役 紀州の真鯛

バリ島を旅行すると必ず何処かの村でお祭りをしているものです。村それぞれに寺があり、それぞれに祭りがあるため、年中お祭りをしている島と思われるほどです。寺の祭壇には寸分の狂いなくきれいに積みあげられた色鮮やかな果物、様々な供物、横には着飾った男女がにぎやかに勢ぞろい。そして白と黒の格子模様の幕。日本ではお祭りといえば紅白ですが、バリヒンズー教では黒白がおめでたい色として使われます。これは人々の生死に対する考え方や宗教が大きく左右していると考えられます。生きる喜びの「紅」、死を尊いものとする「黒」。色はまさに心の表現方法といえるのではないのでしょうか。

「紅」。日本人は「くれなゐ」「べに」と読み、和装の「もみ」を持ち、そこから紅葉「もみじ」と呼ばれるようになったのでしょうか。春になれば桜が咲き誇り、その色合いも白に紅を混ぜた桜色。こんな春に大挙して日本海に押し寄せてくる魚が、今日の主役、鯛です。桜の咲くころに乗っ込む（産卵のために浅い岩礁帯へ寄ること）ため桜鯛と呼ばれ、味もよく、体表の色も鮮やかな紅を示します。また、鯛に係わるのが「目出度い」。メダタイが鯛を連想させるのは当然のことで、紅白の垂れ幕に最も合うのは、この魚をおいて他にはないと思いつく歴史はこれからも変わりはないでしょう。

鯛という名前は本来、真鯛、チ鯛、レンコ鯛の3種類に限って呼べるのですが、黒鯛、甘鯛、カンダイ、的鯛、笛吹鯛な



どおよそ形が全く違うのに、その名前にあやかりうと、鯛を名乗ります。しかし、やはり鯛は真鯛。魚の王様として君臨できる要素が多々あります。

真鯛は雀寿司になるほどの小さなうちは、内海の浅いところ、それも砂泥地に住み網捕りされやすいので、たくさん水揚げされるため安価です。とろろが30センチ位になると、海底の起伏が激しく流れの強い海に住むところを変えます。流れは自ずと身を引き締め、岩礁は好物の海老を繁殖させ、日光焼けを防ぎ、美しい魚体を保護します。漁師はこぞって一本釣りで流れの激しいところを攻め、美しい姿のままの水揚げにこだわれば「名人」と呼ばれる人が出るほどに技術の差も顕著に現れます。真鯛を釣り上げたとき、美しい魚体はさらに人の心をも握るのです。



暁の空に見立てた鯛のオードブル



エドのムースを鯛で包んだ海の幸との取り合わせ

●真鯛料理●

春の空 〈カルパチオ仕立て〉
春の野 〈アスパラガスとパイ包み〉
春の山 〈タラの芽と香りのサラダ〉
春の海 〈海の幸との取り合わせ〉
デザート イチゴのスープ仕立て

次回は5月30日(木) 午後6時30分開講予定です
テーマは紀州の鯛 料金8,000円

RESTAURANT
PATRIE
レストランパトリー

■お問い合わせ
レストランパトリー

神戸市中央区二宮町4-20-5 (ホテルピエナ神戸2F)
TEL 078-272-1313